

ラインアレイ・スピーカー体験デモで有名9社のPAスピーカーを体感!

コンサートホールなどに設置される大型PAスピーカーの有名ブランドが一堂に集結! 何と9社の吊り下げ式モデルを聴き比べるというイベントが、会期内に幕張メッセ・イベントホールで開催されました。その大規模なイベントの様子を機材一式のセッティングを行なったエンジニアのインタビューを交えてお伝えしましょう。

吊り下げ式のPAスピーカーであるラインアレイシステムが体験できるデモは国内初。さらに会場設置としては異例の9メーカーの異なるPAスピーカーが聴き比べられるという大がかりなイベントということで、会場にはプロのエンジニアや音響エンジニアを目指している専門学校生が積極的に参加していました。

デモは、男女のナレーションとCD音源、ライブ演奏を実際に再生して、各社のPAシステムを試聴しながら、各モデルの特徴が解説され、ラインアレイならではの抜けのいいサウンドがその場で再生されました。システム的にも、デジタル通信やデジタルパワーアンプ、また指向性タイプのサブウーファーといった最新機材を体験できたり、パソコンを使った事前のシミュレーションや音質調整などの便利な機能も紹介され、各モデルの音質の違いを試聴者が真剣にチェックする様子が印象的でした。

出展各社

- オタリテック株式会社
- 株式会社オーディオブレインズ
- TOA株式会社
- 株式会社ヤマハミュージックジャパン
- ヒビノ株式会社
- ベステックオーディオ株式会社
- 株式会社エイ・ティ・エル
- ヒビノインターサウンド株式会社
- 音響特機株式会社



↑トラス構造の骨組みに各社のラインアレイPAスピーカーを吊り下げて設置し、順番に鳴らしながら試聴会が行なわれた

INTER BEE INTERVIEW



←9社のラインアレイPAスピーカーシステムを設置したサウンドエンジニアの大内健司氏

豆知識

●ラインアレイスピーカーとは?

ラインアレイスピーカーは、通常ドライバーユニットが縦一列に並んで配置されており、均一で明瞭度の高い音を狙ったポイントに伝えられます。別名、線状音源スピーカーやポイントソース用スピーカーとも呼ばれ、大規模のコンサート会場やイベントスペースなどでは、サブウーファーと併用して使われています。またパワー効率のいいデジタルパワーアンプとセットで使われることもあります。

●デジタルアンプとは?

通常のアナログパワーアンプの効率は最大でも50~60%程度であるのに対して、デジタルアンプは80~90%と非常に高く、消費電力も大幅に減らすことができます。また発熱が少なく軽量コンパクトなため、PA用のパワーアンプとして主流になりつつあります。

PAスピーカーを会場にセットしたエンジニアの大内氏にインタビュー

「9社のラインアレイPAシステムをひとつの会場にセットするにあたっての工夫や苦労された点を教えてください。」
大内: 何まですは、膨大な数のスピーカーを吊り上げる場合に、この会場の重量制限をクリアしないといけないわけですが、9社の重量を計算してみたところ10トンにもなったんです。これに吊り下げ用に製作したトラス構造の骨組み4台とモーターが加わります。デモでは、一般の方にも楽しんでもらえる工夫として、本番中にスピーカーの上げ下げや、ケーブルの抜き差しなどの実践的なセッティングの様子を見れるようにして、「こんな風に付いているんだよ」とか、「こんな簡単にセットできるんだよ」といった裏方の作業も見せて頂けるようにしたかったんですね。そのために重量制限をクリアできる平均値を出すのに苦労はしましたね。
もうひとつは、通信システムの違いですね。AESデジタルやLANなどを使ったデジタル通信を利用してスピーカーを鳴らすケースがあるわけですが、その通信システムが各社違って、どれも新しいシステムなので、プロセッサを経由した各社のシステムをすべて把握する必要があります。送信方法も各社で異なりますし電源も膨大な量なんです。今までこんなに電源を使った経験がありません。9社で約2800アンペアですよ(笑)。もちろん9社同時には使えません、今回のセッティングでは9社分用意しなければならぬわけですから、その規模の大きさが一番難しい所でしたね。